

病理学 A・B

【前期】火 1・金 1

石丸 直澄, 工藤 保誠, 新垣 理恵子, 山田 安希子

ここで紹介された資料は**蔵本 2 階授業サポートナビコーナーにあります**ので、どうぞご利用ください。

(同じ本が 3 冊以上ある場合は★の場所にもありますので、そちらもご覧ください)

図書

授業のテーマをつかみ事前学習や復習を効率的に進めるために、これらの図書を読むことから始めましょう

- **見逃してはならない血液疾患—病理からみた 4 4 症例 / 北川 昌伸, 定平 吉都, 伊藤 雅文編 医学書院 2014**

→

【493.17||Mi】
- **病理学・口腔病理学サイドリーダー 第 2 版 / 草間薫, 大野純編著 学建書院 2007**

→

【497.1||Ku】
- **カラールービン病理学：臨床医学への基盤 改訂版 / エマニュエル・ルービン編；鈴木利光 [ほか] 監訳 西村書店 2017**

→

★【蔵本 2 階生命科学閲覧室 491.6||Ka】
- **集中講義病理学：カラーイラストで学ぶ 改訂 2 版 / 清水道生編 メジカルビュー社 2016**

→

【491.6||Sh】
- **標準病理学 第 6 版 / 北川昌伸, 仁木利郎編集 医学書院 2019**

→ 様々な疾患の病理学的概念、基礎知識、思考様式を必要かつ十分にとりあげ、理解しやすいよう平易かつ明快な文章で記述されています。4 色フルカラーで、分かりやすいイラスト、質の高いマクロ/組織写真を数多く取り上げています。

【491.6||Hy】
- **スタンダード病理学 第 4 版 / 沢辺元司, 長坂徹郎編 文光堂 2015**

→ 生体の病的変化とともに、臓器・組織の正常構造と機能を示し、さらに疾患の臨床症状・臨床検査所見等も盛り込み、基礎と臨床のつながりも明確化されています。

【491.6||Su】
- **わかりやすい病理学 改訂第 6 版 / 恒吉正澄, 豊島里志, 高橋睦夫編集 南江堂 2016**

→ 本書は、最新の知見を盛り込み、理解がし易いようにシエーマに工夫をし、視覚にうったえる紙面構成です。また、口絵を掲載し、わかりやすいシエーマと写真とを比べることにより深い理解が得られる一冊です。

【491.6||Wa】
- **外科病理学 第 5 版 / 深山正久, 森永正二郎編集 文光堂 2020**

→ 病理医のみならず臨床医にも絶大なる支持を得ています。臓器ごとに正常構造の解説を施し、取扱い規約、WHO 分類、国際分類などの標準的分類を加え、国際的に通用する外科病理学の標準書です。学生の教科書としてはやや難しいかもしれませんが。

★【蔵本 2 階生命科学閲覧室 494.16||Ge||1,2】

□ **組織病理カラーアトラス 第2版/ 坂本穆彦, 北川昌伸, 菅野純著 医学書院 2015**

→ 総論では代謝障害・循環障害・炎症・腫瘍・先天異常の5分野について、組織標本の見かた、考えかたをしっかりと身につけることを目指しています。後半の各論では、臓器別の基本構造(正常像)をおさえた上で、身につけておくべき疾患の概念、病理診断のポイントをまとめていて分かりやすい一冊です。

【491.6||Sa】

□ **組織病理アトラス 第6版 /小田義直 [ほか] 編集 ; 新井信隆 [ほか] 執筆 文光堂 2015**

→ 「病理組織の見方と鑑別診断」と同じ位置づけの教科書で、多数の病理標本が載っており、全系統を網羅しかつ総論範囲に関する記述もあります。病理学実習に必須の一冊です。

【491.6||So】

□ **病理組織の見方と鑑別診断 カラーアトラス 第5版 / 松原修, 真鍋俊明, 吉野正編 医歯薬出版 2007**

→ 病理組織学の実習書の決定版であり、オールカラーによる写真と解説で、典型的な病変、重要な病変や鑑別点が理解できます。

【491.6||By】

□ **血液細胞アトラス 第5版 / 三輪史朗, 渡辺陽之輔共著 文光堂 2004**

→ 血液学の進歩を反映した血液学の教科書であり、染色体技術、遺伝子解析、フローサイトメトリーなどの分子生物学的動向とともに、FAB分類とWHO分類を比較した解説を加えたほか、アトラス部分も充実した一冊です。複雑な血液細胞の形態や機能を理解するには便利なアトラスです。

【491.321||Mi】

□ **口腔病理アトラス 第3版 / 高田隆, 豊澤悟共著 文光堂 2018**

【497.16||Ko】

DVD

授業のテーマに関連した視聴覚資料です

□ **病理画像ケーススタディ / 笹野公伸, 真鍋俊明編 南山堂 2008**

→ 「疾患検索」と「練習問題」の2モードで構成され、病理画像700枚以上を収載しています。疾患解説画面で、病理画像を自由に拡大・縮小、移動させることができ、解説は、症例・解説・治療・予後・ポイントにカテゴリ化されて表示されています。練習問題はランダムに10問セットで出題されています。解くまでの時間がカウントされ、解説は鑑別に役立つ解き方がわかります。

【491||DVD-ROM】

Web

授業のテーマに関連したデータベースやサイトです

□ **病理学会のコア画像** 【<http://pathology.or.jp/corepictures2010/>】

→ 日本病理学会が作製したweb画像であり、臓器別に代表的な疾患の病理組織像が閲覧できます。画像がきれいであり理解しやすいおすすめサイトです。

□ **口腔病理学会の口腔病理基本画像アトラス** 【<http://www2.dent.nihon-u.ac.jp/OralPathologyAtlas/Ver1/>】

→ 日本臨床口腔病理学会が作製したwebサイトであり、口腔の疾患別に詳しい病理組織写真が閲覧できる便利なサイトです。国家試験やCBTの画像問題の勉強に最適です。